

宮崎県 在京経営者会議だより

発行責任者／山中 祥弘 〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 学校法人メイ・ウシヤマ学園内
TEL 03-3408-5020 / FAX 03-3423-6092



会長挨拶

宮崎県在京経営者会議 会長 山中 祥弘

コロナ禍に耐えているうちに、われわれを取り巻く世界は大きく変わってきました。インターネットや人工知能の発達によって、「第4次産業革命」ともいわれるデジタル時代に突入したのです。

ことしの新年賀詞交歓会で講演された坂本修一氏は、進化論を唱えたチャールズ・ダーウィンの「適者生存」の考えをとりあげて、生物だけでなく企業や組織も「環境の変化に対応できたものが生き残り」と強調されました。宮崎県在京経営者会議も、デジタル時代の大きな環境変化に対応していかなければなりません。

そのためには、まず在京経営者会議の枠をひろげていこうと考えています。宮崎県や市町村などの行政機関だけでなく、宮崎の商工会議所や酒造組合などの経済団体、ほかの宮崎県関係団体との交流をこれまで以上に積極的に深めていきます。それぞれが独自性を保ったままで、われわれが「宮崎連合」ともいえる緩やかな結合の「触媒」の役割を果たそうというものです。

われわれの内部の壁を破り、枠を広げていくことも重要です。宮崎県出身者だけでなく、宮崎を愛する者なら誰でも、「宮崎の焼酎と郷土料理を楽しむ会」や「ビジネスフォーラム」などの活動に参加してもらえるような環境を作り上げたいと考えています。デジタル時代に即した組織の活性化にも積極的に取り組んでいく所存です。

われわれの活動の幅を広げていくためには、会員の皆様ひとりひとりのご理解とご協力が不可欠です。大きな変化の中でわれわれが生き残り、発展していくために、皆様の積極的なご支援をお願いいたします。



知事挨拶

宮崎県知事 河野 俊嗣

はじめに、令和6年元日に発生しました能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。県といたしましても、関係機関と連携しながら、息の長い支援を全力で行ってまいります。

宮崎県在京経営者会議の皆様におかれましては、首都圏における本県出身者との交流や文化・観光・物産のPRなど、県政の推進に温かい御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、3年以上に及ぶ新型コロナとの闘いが、5類感染症への移行により大きな転換点を迎え、世界に輝いた「WBC侍ジャパン」の合宿や国際定期便「宮崎ーソウル線」の再開、半導体生産拠点の立地決定、置県140年の歴史で初めて開催した「宮崎県人会世界大会」など、明るい話題に恵まれた年となりました。

本県ならではの温かいおもてなしを通じて、本県の多彩な魅力を広く世界に発信することができた成果を最大限に生かし、今後も、国内外における本県の知名度向上や県産品の販路拡大を図ってまいります。

令和6年度は、宮崎再生の着実な推進と次なる成長活力の創出のため、物価高や災害等から県民生活・経済活動の早期回復・安定化を目指すとともに、人口減少下においても安心と活力ある社会の実現に向けた取組を促進してまいります。

また、本県の強みを生かし、県勢の更なる飛躍につなげるため、「子ども・若者プロジェクト」「グリーン成長プロジェクト」「スポーツ観光プロジェクト」の3つの日本一挑戦プロジェクトを掲げ、いずれも日本一という高い目標の達成に向けて、強い覚悟と決意をもって取り組んでまいります。

今後とも、皆様の声に真摯に耳を傾け、安心と希望あふれる宮崎県づくりに全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、宮崎県在京経営者会議の更なる御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、御挨拶いたします。

活動報告

令和5年度 第25回定期総会

令和5年6月30日(金)に六本木ヒルズハリウッドプラザで開催されました。

総会の部は令和4年度の事業報告並びに収支決算の承認、令和5年度の事業計画並びに収支予算案が承認され、役員構成の議事についてもすべて可決されました。

今回は特別に都城市からふるさと納税についてのプレゼンテーションが行われました。

懇親会の部では今年も、ご来賓の宮崎県知事河野俊嗣様よりビデオメッセージでご挨拶を賜り、その後宮崎県東京事務所長の児玉憲明様より乾杯のご発声をいただき、参加者の皆様と懇親と交流を深められました。

ビジネスフォーラム

○第13回ビジネスフォーラム

4月25日、宮崎市のご出身で、オリックス・バファローズ球団プロ調査グループ長の宮田隆氏に「私のプロ野球人生」としてお話いただきました。宮田氏は、千葉ロッテマリーンズ、オリックス・バファローズで編成部長を歴任、その後西武ライオンズで編成をご担当された後、現職に就任されておられます。WBCで日本中が盛り上がった時期に、野球界の裏も表も知り尽くした宮田氏によるご自身の生き方も交えた語り口に、参加者は大いに刺激を受けました。

○第14回ビジネスフォーラム

8月28日、宮崎市長の清山知憲氏に「新しい宮崎市政」と題してお話いただきました。

これからの宮崎市の方向性と改革の道筋について、特に市役所改革・防災・経済活性のための交通網整備・SDGsへの取り組みやネット社会での若者の力の活用、教育・社会福祉など市政の基盤となる分野の再構築につき、将来の発展を見据えた豊富な内容に大いに示唆を受けました。



○第15回ビジネスフォーラム

11月13日、宮崎市のご出身で、株式会社ソラシドエアの社長である高橋宏輔氏に「九州・沖縄の翼のこれから」と題してお話いただきました。地方発の空港会社であるソラシドエアの方向性や持株会社の狙い等について、分かりやすくお話いただきました。また、年始フライトのご紹介等もいただき、ソラシドエア社の活動について知るよい機会となりました。



○第16回ビジネスフォーラム

1月25日、延岡と縁の深い旭化成株式会社顧問兼陸上競技部総部長、一般社団法人日本実業団陸上競技連合代表理事会会長を務めておられる坂本修一氏に「陸上競技を通じて学んだこと」としてお話いただきました。お話の中では陸上競技を通じて学ばれたことに加え、旭化成株式会社の歴史と成長戦略とりわけヘルスケア分野に重点をおいてお話いただき、陸上競技と会社経営に関するご示唆をいただきました。



◆U50 活動状況

U50部会は発足と同時に、コロナ禍の影響で活動を自粛してきましたが、ついに初めてのイベントを開催することができました。宮崎市東京事務所との共同開催で、2024年1月31日に新宿みやこんじょにて「みやざきファンミ2024」を開催しました。当日は、宮崎出身で吉本興業所属の久保田かずのぶさん（とろサーモン）をゲストに迎え、宮崎から上京してきた20～30代の若者80名が参加し、交流と親睦を深めることができました。若者を中心に参加してもらった新たなイベントとして、今後も継続的に開催できるよう取り組んでいきます。



◆宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会

令和5年10月7日に「焼酎の会（第20回）」を六本木のハリウッド大学院大学にて開催しました。昨年に引き続きの開催で約250名の県内外の皆様にご参加頂き、諸団体や諸企業からのご協賛による宮崎焼酎や宮崎牛、地頭鶏、県産野菜、魚（カンパチ、カツオ）などの郷土料理を堪能した大盛況の会となりました。



◆法律相談会

球春が到来し、宮崎県全体が活気に溢れる中、日南市役所にて、2月5日、市役所職員に対し、「誰もがいきいきと働ける職場環境づくりを」というテーマの下、①ハラスメント、②性の多様性に関するコンプライアンス研修を午前、午後の部の2回、事例問題や裁判例、サンプル動画も交えて行いました。

当日は、合計43名の職員の方々に聴講いただき、実りの多い研修となりました。今後も郷土の発展に貢献できるよう尽力してまいります。

◆令和6年新年賀詞交歓会

令和6年1月25日（木）に六本木ヒルズハリウッドプラザで開催されました。今年は賀詞交歓会の前に、第16回ビジネスフォーラムを行い、旭化成(株)の坂本修一様より陸上競技を通じて学んだこと、変化し成長する旭化成についてご講演をいただきました。

賀詞交歓会の部では山中祥弘会長のご挨拶にはじまり、ご来賓のご挨拶は宮崎県知事河野俊嗣様よりビデオメッセージで宮崎県の現状と今後の経済成長について分かり易くご説明賜りました。

今年は当会会員、宮崎懇話会の皆様はじめ多くの参加があり新年にふさわしい有意義な会でした。



宮崎県東京事務所の活動概況

宮崎県在京経営者会議の皆様には、日頃から宮崎県政の推進につきまして温かい御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

東京事務所は、首都圏における宮崎県の総合窓口として、様々な業務に取り組んでおり、その活動をいくつか紹介させていただきます。

【企業誘致】

本県への企業誘致を目的として、首都圏等の企業との面談を実施するとともに、展示会やマッチングイベントに参加し、立地環境のPRを行っています。特に近年は、九州で半導体関連産業の集積が進んでおり、本県も重点産業に位置づけ、誘致に力を入れているところです。また、月1回、立地企業など約150社に「宮崎ひなたニュースター」を送信し、首都圏でのセミナーやイベント、県の取組などを情報提供しています。



▶展示会



▶経営者交流会

【県の魅力発信】

一人でも多くの方に本県を訪問してもらい、宮崎県の魅力に触れていただけるよう、東京モノレール様やソラシドエア様をはじめとする各公共交通機関と連携した「浜松町⇄宮崎スタンプラリー」を昨年度に引き続き実施しました。

また今年度から、Facebook 投稿への英訳の添付や東京事務所 Instagram アカウントの開設など、SNSの活用による情報発信の強化にも取り組んでいます。



【国への提案・要望活動】

本県では、県政の重要課題に対応するため、毎年国に対し、施策の提案や制度の創設、財政支援などを求めて要望活動を実施しています。

また、知事が委員長を務める全国知事会地方税財政常任委員会や市町村、関係団体等の要望活動の調整も行っています。



【県産品の販売拡大とPR】

本県の農林水産物・食品等の販路開拓や販売促進、認知度向上を図るため、百貨店やスーパーでの催事をはじめ、ホテルやレストランでのメニューフェアの実施、県内事業者とバイヤーとのマッチング、各種イベントでのPRに取り組んでいます。また、新宿のアンテナショップ KONNE での販促PR、本県とご縁のある企業での社内販売や宮崎ゆかり店での旬の食材フェアの開催等により、食を通じた宮崎ファンの拡大に努めています。



▶イベントでの宮崎牛



▶ホテルでの宮崎フェア



▶KONNE での催事

東京事務所では、今後とも様々は活動を通じて宮崎県の発展に努めてまいります。

最後に、宮崎県在京経営者会議の更なる御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます。

※東京事務所URL <https://www.mtokyo.jp/>

編集後記

本格的なアフターコロナを迎えた今期は、焼酎と郷土料理の会をはじめ、BF等、各イベントに多くの方々のご参加をいただき、皆様の笑顔と温かい心にふれることができました。来期も宮崎を愛する方、宮崎を知ってほしい方、宮崎に興味をもたれてる方々にご参加いただけますよう努めてまいります。原稿を寄せてくださった皆様に心より御礼申し上げます。(広報部)